

四国銀行と皆さまを結ぶ情報誌

しぎん Report

Just
Like
Family!

2023年3月期
ミニディスクロージャー誌

第209期 営業のご報告



新頭取

小林達司よりご挨拶

「牧野博士の新休日」
開催中



～“ベスト&リライアブルカンパニー” 実現の第一歩へ～

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、皆さまに当行ならびにグループ各社に対するご理解を一層深めていただくために、2023年3月期『しぎんReport』を発刊しましたので、お届けいたします。

国内での超低金利環境が続く中、人口減少や少子高齢化に伴う後継者不足、デジタル化やカーボンニュートラルへの対応など、地域金融機関を取り巻く経営環境は大きく変化しており、当行に求められる役割は、これまで以上に多様化・高度化していくものと考えております。

このような環境認識のもと、当行は本年4月から、新たな10年ビジョン「地域と産業を牽引するベスト&リライアブルカンパニー」の実現に向けた変革の第一歩として、期間3年の中期経営計画をスタートさせました。

中期経営計画においては、「10年ビジョンの実現に向けた態勢整備」と「経営体質の強化」の2つの戦略テーマを掲げ、両輪で推進してまいります。

「10年ビジョンの実現に向けた態勢整備」では、地域と産業の情報を収集・分析するシンクタンク機能や地域の課題解決を図る企画・実行機能を強化するとともに、お客様の企業価値向上に資する法人営業スタイルの変革に取り組むなど、地域と産業を牽引する態勢整備を進めてまいります。

また、大和証券との包括的業務提携を通じた、お客様の資産形成・運用ニーズに的確にお応えするためのビジネスモデルの構築や、お客様への新たな価値提供を目指したデジタル・非対面チャネルの拡充に取り組むほか、従業員のウェルビーイングの実現により、組織の活性化を図ってまいります。

そして、「経営体質の強化」においては、これまでの取り組みを更に磨き上げ、収益力と効率性の向上に取り組んでまいります。

私ども四国銀行グループは、役職員一丸となって「地域と産業を牽引するベスト&リライアブルカンパニー」の実現を目指し、邁進してまいります。

引き続きのご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

取締役頭取

小林達司



Contents

TOP MESSAGE P1

新たな10年ビジョン P3

中期経営計画2023 P4

サステナビリティ方針 P5

環境保全への貢献 P6

地域経済・地域社会への貢献 P7

お客様本位のコンサルティング推進 P8

多様な人財が活躍できる職場環境の整備 P9

かん高知

「牧野博士の新休日」
開催中 P11

財務ハイライト P13

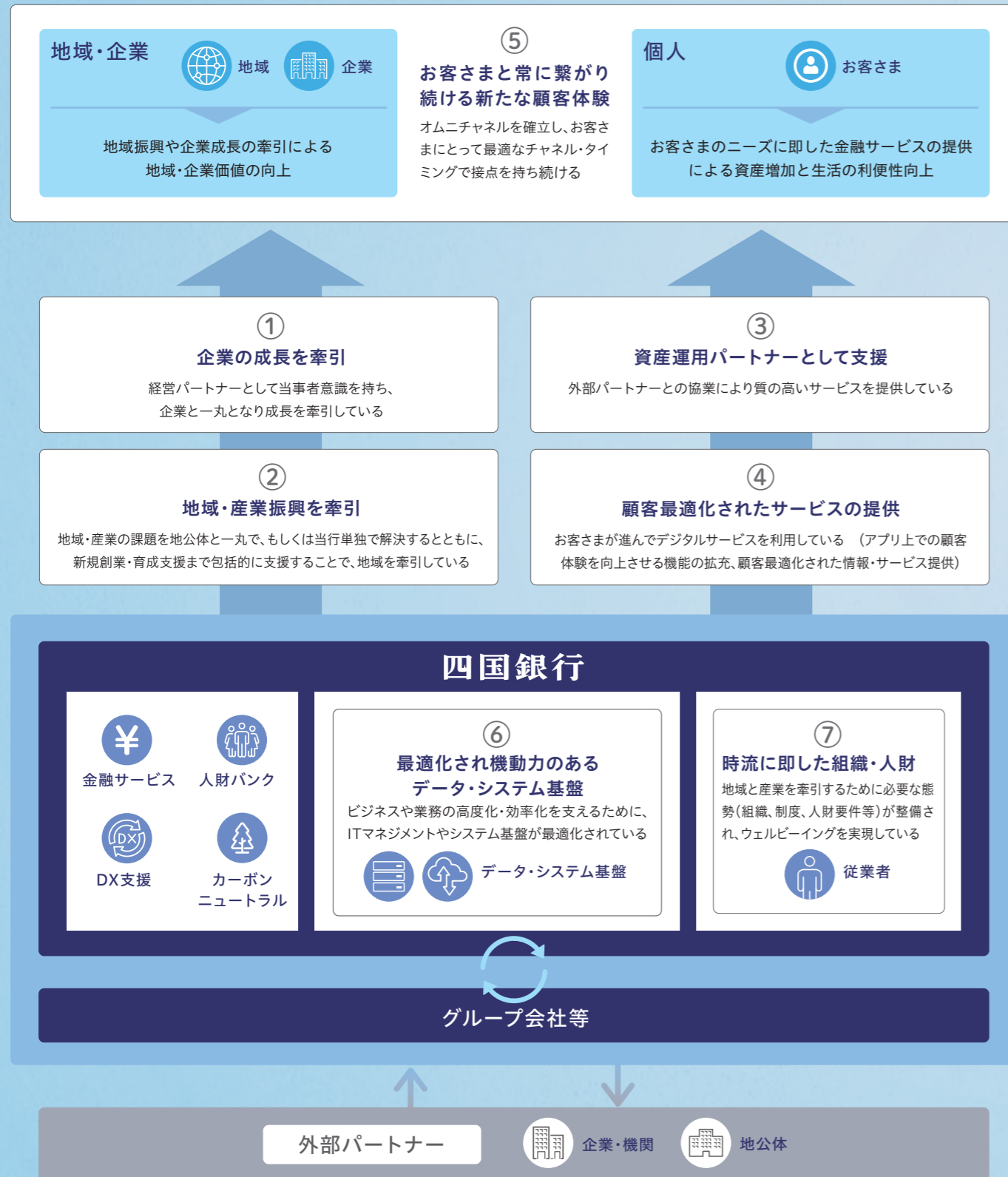
株主の皆さまへ P14

新たな10年ビジョン

～地域と産業を牽引するベスト&リライアブル カンパニー～

当行を取り巻く10年後の経営環境を想定し、経営理念の実現に向けて当行が目指す姿として、新たな10年ビジョンを定めました。当行は、金融を基盤とするサービスを通じて、グループ一体で“地域と産業を牽引するベスト&リライアブル カンパニー”を目指します。

①～⑦: 10年ビジョン実現に必要な7つの要素



中期経営計画2023

～ベスト リライアブル・バンクからベスト&リライアブル カンパニーへ～

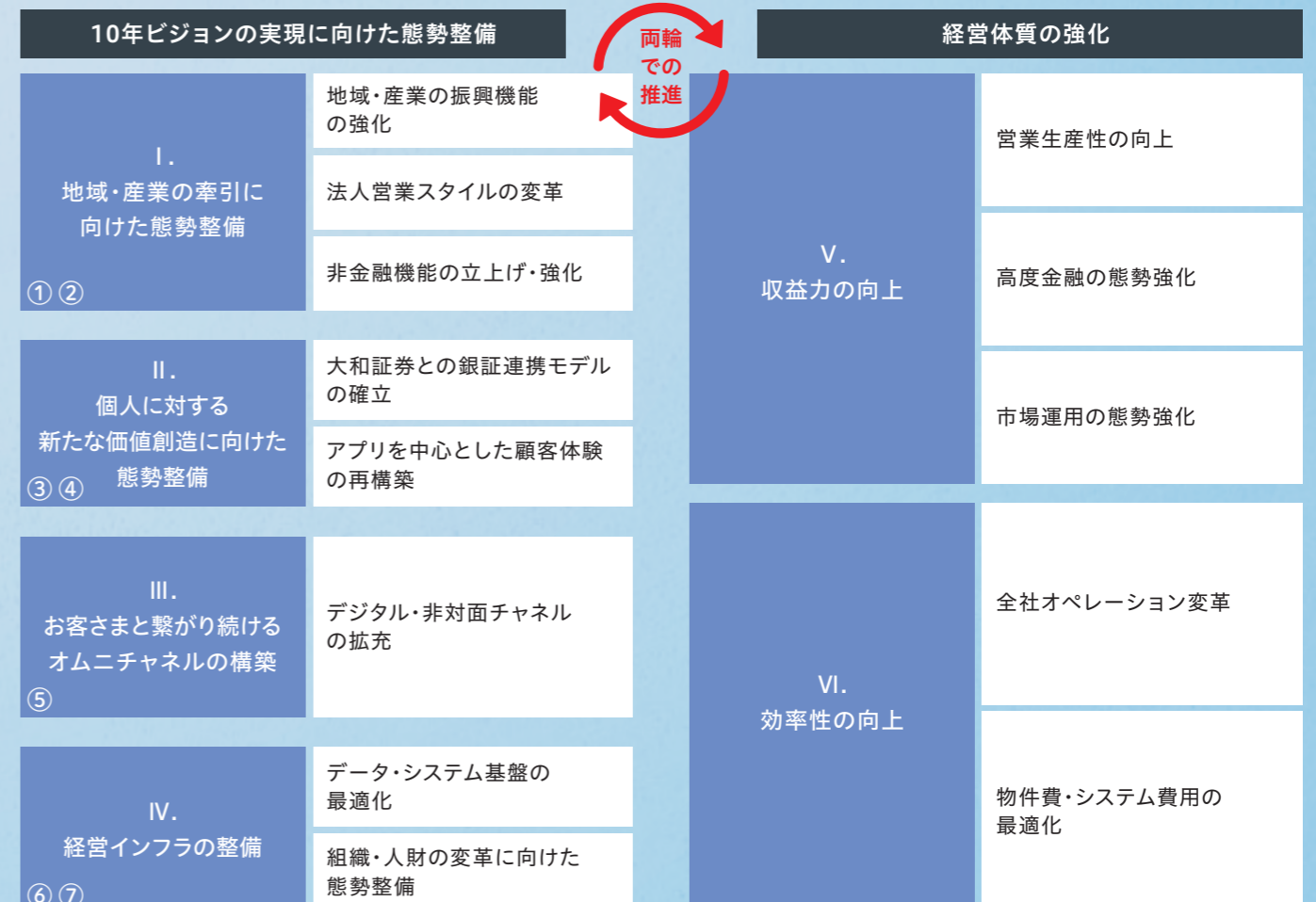
2023年4月にスタートした中期経営計画2023は、10年ビジョン実現に向けた変革の第一歩と位置付けております。



中期経営計画2023の体系図

中期経営計画2023においては、「10年ビジョンの実現に向けた態勢整備」と、これまでの取り組みを更に磨き上げる「経営体質の強化」の2つの戦略テーマを掲げ、両輪で推進してまいります。

■: 戦略テーマ ■: 戦略目標 □: 重要施策 ①～⑦: 10年ビジョン実現に必要な7つの要素



サステナビリティ方針

四国銀行グループは、経営理念に基づき、地域、お客さま、従業員といったステークホルダーの様々な課題の解決・ニーズへの対応に向けた積極的かつ誠実な取り組みと環境保全への貢献を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献するとともに、四国銀行グループの中長期的な企業価値の向上を目指します。

1 環境保全への貢献

自然豊かな四国を基盤とする地域金融機関として、環境保全に資する商品やサービスの取扱い、脱炭素社会に向けた官民共同の取り組みも含めた環境負荷の低減に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。

>>> 6p

2 地域経済・地域社会への貢献

人口減少や少子高齢化等、解決すべき多くの課題がある四国の金融機関として、社会・環境活動を通じた課題解決への取り組みなど、地域の将来に主体的かつ積極的に関与することで活力にあふれた地域を実現します。

>>> 7p

3 お客さま本位のコンサルティング推進

すべてをお客さまから見て考え、行動し、お客さま本位のコンサルティングや利便性の高いサービスを提供することで、事業所、個人のお客さまの課題解決に貢献します。

また、すべての人々がゆたかで便利なくらしを送ることができるよう、金融リテラシーの普及・向上に努めます。

>>> 8p

4 多様な人財が活躍できる職場環境の整備

当行の特長である「Just Like Family!」な人財力に、専門的なコンサルティング能力を組み合わせ「四銀スタイル」を目指すべき人財像と位置づけたうえで、従業員のエンゲージメント向上、多様なキャリア形成を支援する人財育成、人財の多様性の拡大、人権の尊重、公正な処遇等を通じて、すべての人財がやりがい・働きがいを感じ、その個性と能力を十分に発揮し活躍できる職場環境を整備します。

>>> 9p

1 環境保全への貢献

「高知家応援でんき水力100%プラン」の導入

当行は、CO₂排出量の削減を目的として、よさこい咲都支店に「高知家応援でんき水力100%プラン」を導入いたしました。この取り組みにより、CO₂排出量を年間約73トン削減できる見込みです。

高知家応援でんき水力100%プランは、高知県と四国電力株式会社が提携して、CO₂排出量の削減に取り組む高知県内の企業向けに、高知県営水力発電所で発電したCO₂フリー電気を供給するプランです。

当行では引き続き、環境問題の解決に向けた取り組みを通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

高知県にはどんな水力発電があるの？

高知県公営企業局の運転する3発電所の1つ、杉田発電所は **ダム式・貯水式** で発電しています。

ダム式って？

ダムで水をせき止め、高いところと低いところの差を作り、ダムのそばで発電する方式です。



貯水式って？

川の水を大きな池にため込み、年間を通じて発電運用する方式です。

一般に水力発電所で発電する電力は、流す水の高低差が大きいほど、また量が多いほど多くなります。杉田発電所は落差が約35メートル、水の量は最大で毎秒40立方メートルを使って、最大11,500キロワットの電力をおこし、一般家庭約15,000戸で1年間に使用する電気量を発電することができます。

電気自動車(EV)の導入



環境に配慮した取り組みの一環として、営業車両に電気自動車(EV)を5台導入いたしました。これにより、CO₂排出量を年間約5.6トン削減できる見込みです。

小松島支店に太陽光発電設備を設置

小松島支店の屋上に太陽光発電設備を設置いたしました。この設備が発電した電力を使用することにより、CO₂排出量を年間約10トン削減できる見込みです。当行は、今後も再生可能エネルギーなどを活用し、CO₂排出量の削減に取り組んでまいります。



2 地域経済・地域社会への貢献

21世紀金融行動原則の最優良取組事例 「運営委員長賞」を受賞

当行は「21世紀金融行動原則[※]」において、金融経済教育の取組みとしては初となる最優良取組事例「運営委員長賞」を受賞いたしました。当行はこれまで、行員が主体となって教育関係者の皆さまと金融経済教育を行ってまいりました。こうした活動が、将来世代の育成による社会価値創出と、行内の人財育成を通じた企業価値向上の両立が期待できる好事例として評価いただき、今回の受賞に繋がりました。今後も、金融経済教育の取組みを推し進め、受講者の自由な金融行動の実現に貢献いたします。



※ 21世紀金融行動原則は、環境省が中心となって、持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針として、署名金融機関によって運営されるプラットフォームです。国内の金融機関のうち303機関が署名しています。(2023年1月時点)

若年層向けポータルサイト「しぎんとWAKAMONO」を公開

若年層向けの様々なコラムや動画などをまとめたポータルサイト「しぎんとWAKAMONO」を公開いたしました。このサイトは、10代、20代に向けて、まずは【当行やお金の事に興味を持ってもらうこと】を目的として立ち上げました。サイトデザインは、現役の高知大学生の意見を取り入れて制作しています。今後も、YouTubeなどのSNSを活用し、充実したサイトを目指してまいります。



フードドライブの実施 ～食品の「もったいない」を「ありがとう」に変える取組み～

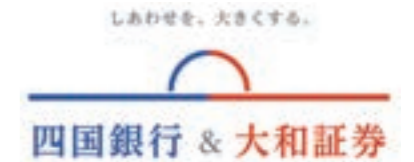
「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を福祉施設や子ども食堂支援を行うフードバンク等へ寄贈するボランティア活動のことです。当行では、行員等が募った食品に加えて、四国アライアンス各行の高知県内支店からも食品をお預りし、段ボール約15箱分の食品を「NPO法人こうち食支援ネット」さまへ寄贈いたしました。



3 お客さま本位のコンサルティング推進

ファイナンシャルアドバイザー部の新設

大和証券との協業を担う「ファイナンシャルアドバイザー部」を新設いたしました。高知県・徳島県内に6つの「ファイナンシャル・アドバイザープラザ」を設置し、お客さまに一層高度で総合的なコンサルティングを提供できる態勢を整えております。



提携の背景・目的

- ・人生100年時代を迎え、資産形成・資産管理が重要に
- ・資産所得倍増計画、「貯蓄から投資へ」の流れが加速

お客さまへの「金融」に関するアドバイスの重要性が更に増す時代へ



幅広い商品、サービスラインアップ、きめ細やかなコンサルティング機会を提供

「四国アライアンス×Shikokuブランド 食の商談会」の開催

四国アライアンスの取組みとしてShikokuブランド株式会社との協働による「食」をテーマにした商談会を開催いたしました。当商談会は、主に食品業者の皆さま向けの販路拡大支援策として、四国地区のメーカーや生産者と大手量販店に販路を有する事業者とのビジネス機会を創出するものです。当行は、今後も商談会開催によるお客さまの本業支援を通じて、四国創生および地域活性化に取り組んでまいります。



「第5回 四国アライアンスビジネスプランコンテスト」の開催

「四国地域における起業・創業意識を高めるため、また独創性のあるビジネスプランを持つ起業家を発掘し、事業化に向けた支援を行うため、四国アライアンス主催でビジネスプランコンテストを開催いたしました。四国各県から選出された8者による発表・審査・表彰式が行われ、高知県選出企業では土佐清水リゾート合同会社が優秀賞（ソーシャル部門）を受賞いたしました。受賞したプランにつきましては、四国アライアンス参加行のネットワークを活用し、外部支援機関とも連携した経営サポートを行ってまいります。



4 多様な人材が活躍できる職場環境の整備

人事制度の改定

従業者が性別や年齢等に関わらず、その個性と能力を十分に発揮し、やりがい・働きがいを感しながら活躍できる環境を整えることを目的として、人事制度を改定いたしました。

この改定によって従業者のキャリア形成や成長支援を推し進め、お客さまに提供するサービスの質やコンサルティング力の向上に努めてまいります。

(1) コース別制度

- ① 総合職・一般職の区分を廃止し、総合職に統一
- ② 専門人材を処遇する専門職コースを新設



(2) 等級制度

- ① 役割等級制度の導入
- ② 56歳以降の専任職移行基準の見直し



(3) 報酬制度

- ① 役割給の導入
- ② 転居可コース加算給の新設
- ③ 初任給を含む若手行員の給与引き上げ



(4) 諸制度

- ① 子ども手当の増額
- ② 単身赴任手当の新設
- ③ 再雇用嘱託の処遇改善

ウェルネス休暇の新設

健康経営に関する施策の一環として「ウェルネス休暇」を新設いたしました。この制度は、従業者の健康意識を向上させるとともに、疾病の早期発見・治療による就業維持を支援していくことで、従業者のエンゲージメント向上を図ることを目的としています。

趣旨

- ① 人間ドックや健康診断、二次検査、子宮頸がん検診などに利用することで、定期健康診断の完全実施や二次検査受診率の向上に繋げる。
- ② 自身の通院や入院に加え、家族の通院や入院等への付き添いなどにも利用することで、家族を含めた健康の保持・増進に繋げていく。

企業版両親学級を開催

男性の育児休職や家庭参画および部下を持つ上司の意識・行動変化に向けた取り組みとして、高知県の育児休業に関する研修支援制度を利用し、「働く夫婦」「父親」「これから親になる若手行員」などを対象に「企業版両親学級～ママもパパもイキイキと働くために～」を開催いたしました。

共働き世帯が増加する中、夫婦とともに仕事と育児を両立するためには、男性の家事・育児参画が必要不可欠となっています。当行では今後も、行員同士の相互理解を図り、仕事と家庭の両立に対する意識や風土の醸成に努めてまいります。



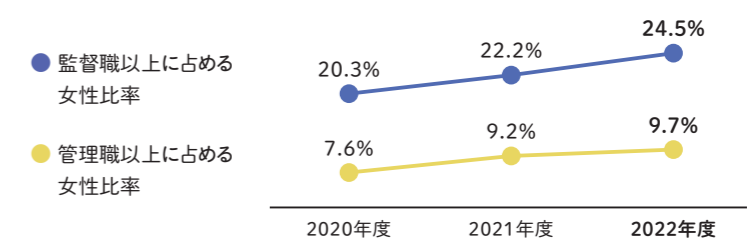
読書キャンペーンの実施



行員の書籍購入費用を当行が負担する「読書キャンペーン」を実施いたしました。この取り組みにより、行員の自己啓発を支援し、人材開発・育成の効果を高めることを目的としています。

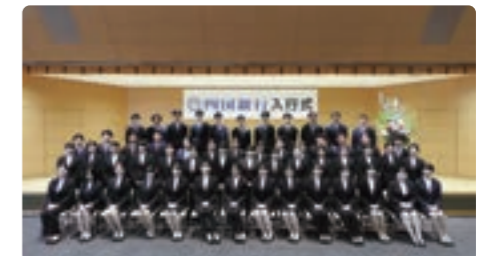
女性の積極的な登用

2026年3月末までに「監督職以上に占める女性比率30%以上、管理職以上に占める女性比率20%以上」という目標を掲げ、女性の積極的な登用や継続就業に向けた両立支援に取り組んでいます。



54名の新入行員を迎えました!

2023年4月3日に入行式を開催し、新入行員54名を迎えました。頭取りより新入行員一人ひとりに辞令が授与され、新入行員代表から、「地方銀行としてお客さまや地域の課題解決の支援に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現に貢献する」「四国銀行の行員として自覚と責任を持ち、日々の業務に真摯に取り組む」旨の決意表明がありました。





らんまんの舞台・高知
**牧野博士の
 新休日** 
 Dr. Makino's New Holiday in KOCHI



「牧野博士の新休日」 開催中

NHKの連続テレビ小説「らんまん」の放送が始まり、高知県観光博覧会「牧野博士の新休日」も2023年3月25日(土)～2024年3月31日(日)まで開催されています。牧野植物園はもちろんのこと、高知県内各所の牧野博士ゆかりの地でイベント等が予定されていますので、ぜひ牧野博士が命名した植物を鑑賞しながら、全国から注目される高知県を一緒になって盛り上げていきましょう！

牧野富太郎が連続テレビ小説のモデルに！

令和5年度
(2023年度) 前期
連続テレビ小説
「らんまん」
(NHK)



牧野富太郎ってこんな人。

高知県出身の牧野富太郎は日本が世界に誇る植物分類学の第一人者です。自らを「草木の精」と名乗り、一生涯を通して植物分類学の研究に打ち込み、新種や新品種など1,500種類以上の植物を命名しました。また日本全国で採集調査を行い、生涯に40万枚とも言われる膨大な数の植物標本を収集、後世に残した蔵書は45,000冊を数えます。

牧野富太郎略年譜

2023(令和5)年は 生誕161年

- | | |
|--|---|
| 1862(文久2)年4月24日
高知県高岡郡佐川町で酒造を営む裕福な商家の一人息子として生まれる。(幼名：成太郎) | 1888(明治21)年
壽衛(すえ)と東京根岸に所帯を持つ。この頃、石版印刷技術を習得し、『日本植物志図篇』を自費出版。 |
| 1868(慶応4)年
父、母、祖父が相次いで亡くなり、祖母に育てられる。(この頃、富太郎と改名) | 1889(明治22)年
大久保三郎と日本で初めて新種ヤマトグサに学名を付ける。横倉山でコロログラン発見。 |
| 1876(明治9)年
佐川の名教館で高度な教育を受け、後に入学した小学校の授業に飽き足らず、2年で自主退学。 | 1953(昭和28)年
東京都名誉都民となる。 |
| 1884(明治17)年
東京大学理学部植物学教室を訪ね、研究室への出入りを許され研究に没頭する。 | 1956(昭和31)年
佐川町名誉町民となる。 |
| 1887(明治20)年
『植物学雑誌』の創刊に携わる。 | 1957(昭和32)年1月18日
94歳で永眠。東京都谷中の天王寺墓地に埋葬。没後、文化勲章を授与される。 |

Tomitaro Makino
1862-1957



越知町(横倉山よこぐらやま周辺)
今も希少植物が残る、植物の宝庫・横倉山は、若き日の富太郎が魅了され、足しげく通った場所です。写真は横倉山の森と、越知町立横倉山自然の森博物館です。



佐川町

幼少の頃から植物に興味を持ち、独学で知識を身につけてきた牧野博士の生まれ故郷。文教の町としての佇まいと酒蔵、博士ゆかりの場所がたくさんあります。



三原村星ヶ丘公園

牧野博士が植物図にも描いたヒメノボタン。今では絶滅危惧種となっているこの花の可憐な群生を、9月頃、三原村の星ヶ丘公園で見ることができます。

牧野博士
ゆかりの
スポットを
巡って
みませんか？



ぐるぐるっとめぐり～
まぎのめぐり～



写真：高知県立牧野植物園 提供

高知県立牧野植物園(高知市五台山)

「日本の植物分類学の父」といわれる牧野博士の業績を顕彰するために、1958年に開園しました。五台山の起伏を生かした約8haの園内には、博士ゆかりの植物など、3000種類以上が四季を彩ります。



室戸岬

亜熱帯性樹林および海岸植物群が一带に植生している高知県東部、室戸岬周辺。牧野博士も植物採集や観察会を行っています。写真はシオギクの群落です。

愛しき草花よ



財務ハイライト

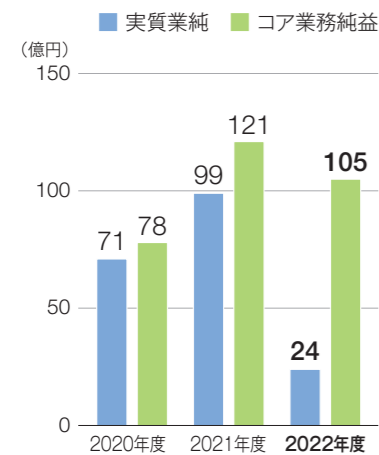
2022年度は、役員取引等利益は増加し経費は減少しましたが、その他業務利益の減少等により、実質業務純益は前年度比74億円減少の24億円、国債等債券関係損益を除いたコア業務純益は同15億円減少の105億円となりました。経常利益は、株式等関係損益の増加や実質与信関係費用の減少等により、前年度比27億円減少の77億円、当期純利益は同21億円減少の55億円となりました。

預金等残高は、法人預金等は減少しましたが個人預金が増加し、前年度末比163億円増加の3兆917億円となりました。貸出金残高は、事業性評価を軸としたコンサルティング活動を推進したことから、中小企業等貸出金と中堅・大企業・地方公共団体向け貸出金がともに増加し、前年度末比674億円増加の1兆9,792億円となりました。自己資本比率は8.62%であり、国内基準に求められる4%以上の基準を大きく上回っております。

<単体情報>

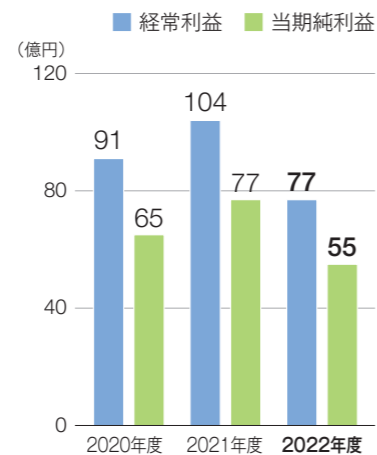
■ 実質業務純益／コア業務純益

24億円／105億円



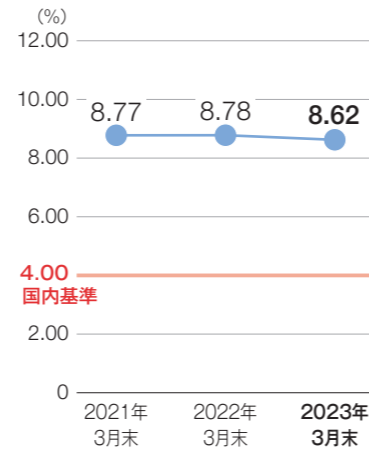
■ 経常利益／当期純利益

77億円／55億円



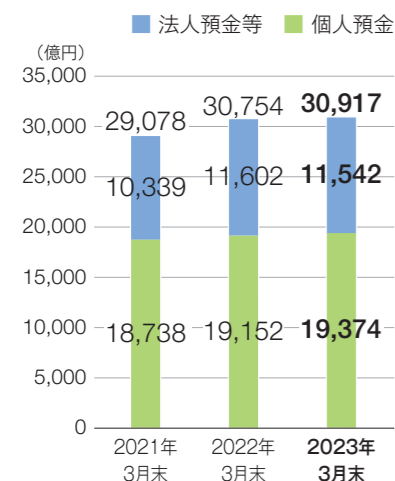
■ 自己資本比率

8.62%



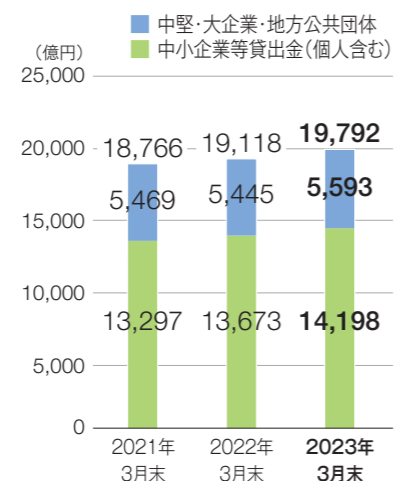
■ 預金等残高 (譲渡性預金含む)

3兆917億円



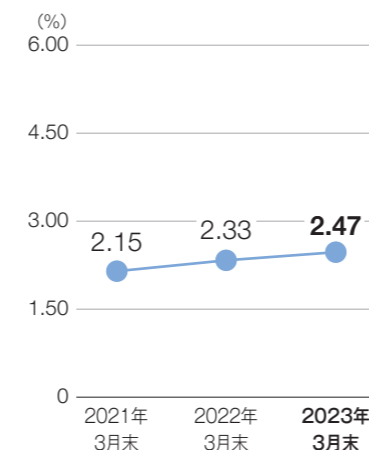
■ 貸出金残高

1兆9,792億円



■ 不良債権比率

2.47%



(注) 数値については、億円未満を切り捨てて記載しております。

株主の皆さまへ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間といたします。
配当のお支払	期末配当は、毎年3月31日を基準日とし、定時株主総会終了後ご指定の方法によりお支払いいたします。中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とし、取締役会の決議によってご指定の方法によりお支払いいたします。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告のうえ定めます。
公告方法 (電子公告)	当行の公告は、ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、高知新聞および日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当行の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ: https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。

株主の皆さまに感謝をこめて

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えしたい。
当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当行株式を保有していただきたい。
そういった思いから、当行では株主優待制度を実施しております。

100株以上1,000株未満の株式を保有される株主さま

コンビニエンスストア等でご利用いただける全国共通の商品券「クオ・カード」を贈呈いたします。

- 100株以上200株未満 : 500円分
- 200株以上1,000株未満 : 1,500円分

1,000株以上の株式を保有される株主さま

地元の特産品を中心に掲載しました専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの商品をお選びいただけます。

- 1,000株以上2,000株未満 : 3,000円相当
- 2,000株以上 : 6,000円相当



ちりめん井



カツオのたたき



四万十うなぎ

※画像はイメージです

● 2024年度は、2024年3月31日現在の株主名簿に記載された当行株式100株 (1単元) 以上を1年以上継続して保有されている株主さまを対象とさせていただきます。



MAKINO × Shikoku Bank

illustration by Shinya Komatsu

イラストはイメージであり、実際のものとは異なる場合があります。



発行: 2023年6月 株式会社四国銀行 総合企画部
〒780-8605 高知市南はりまや町一丁目1番1号 TEL. (088)823-2111
<https://www.shikokubank.co.jp/>